財政学　第 1 回宿題

出題日　2004 年 4 月 28 日(水)

〇宿題に関する注意点

1. 宿題の解答は、A4 用紙片面のみを使用し、１枚にまとめること。
2. 手書き・ワープロどちらでもかまわない。記述問題は日本語か英語で解答すること。
3. 答案には必ず氏名・学部・学年・学籍番号を明記すること。
4. 宿題の解答は 5 月 12 日の授業時間に回収する。これ以外の時間帯に提出しても受け取らないので注意すること。

1. 市場の効率性に関する以下の文章の中で、正しくないものを 1 つ選びなさい。

(1 点)

ア．厚生経済学の基本定理では、当初の賦存量を適切に再配分しさえすれば、あらゆるパレート効率的な配分が市場によって達成されることが示されている。

イ．パレート効率性を実現するためには、交換の効率性と生産の効率性と消費と生産(生産物構成)の効率性の 3 つが同時に満たされなければならない。

ウ．交換の効率性を実現させるためには、どの 2 つの財をとってもそれらの限界代替率が全ての個人にとって等しくなければならない。

エ．パレート改善的な政策を積み重ねていき、最終的にパレート改善の手段が見つからなくなった状態はパレート効率的である。そこでは、出発点に比べて誰の効用も悪化していない。

オ．消費と生産(生産物構成)の効率性を実現するためには、企業の技術的限界代替率と個人の限界代替率が等しくなければならない。

2. 以下の文章の中で正しいものを 1 つ選びなさい。

(1 点)

ア．功利主義的な社会的無差別曲線は直角型であり、ロールズ的な社会的無差別曲線は線形で描かれる。

イ．ロールズ的な価値判断の方が、功利主義的な価値判断に比べて、より不平等に関心を持っている。

ウ．功利主義は分配への配慮がないため、所得再分配は望ましくないと考える。

エ．ロールズ的な価値判断では、すべての人々の経済状態を平等に評価している。

オ．功利主義的な社会厚生関数では、効用が上昇する人の数が低下する人の数を上

回れば、社会厚生は増加する。

3. 公共財に関する次の文章の中で、正しいものを 1 つ選びなさい。

【国家Ⅱ種・平成 9 年度】(1 点)

ア. 公共財の基本的性格の一つは、対価を支払った人のみに限定してサービスを提供することが不可能または困難であることである。その典型的な例としては、政府の安全保障サービスや警察活動が挙げられる。

イ. 一般的に、公共財の供給は民間部門の市場機構を通じて行うことができる。しかし、リンダール均衡においては、例外的に公共部門による公共財の供給が社会的に最適量の公共財の供給をもたらしうることが示されている。

ウ. 現代の先進国経済においては、財政支出のほとんどが、外交、法務、警察、消防および防衛などの純粋な公共財のための支出に充てられている。わが国において、政府の最終支出額全体のうち純粋な公共財への支出比率は 9 割を超えている。

エ. パレート最適を満たす公共財の供給水準は、所得分配とは独立的に決定することができる。したがって、所得分配が変化しても、社会にとっての公共財の最適供給水準は変化しない。

オ. 公共財の基本的性格の一つは、ある人の消費が他の人の消費を減少させることである。この性格を競合性といい、混雑していない高速道路や音楽会場の利用は、競合性が成立している典型的な例である。

4. 以下の文章の中で正しいものを 1 つ選びなさい。

(1 点)

ア. 集団的意思決定では、個人の選好が異なった場合に、個人の選好を変化させて同じものに収束させる必要がある。

イ. 公共財が一つだけの場合の選好は通常は単峰的となるが、代替的な私的財が存在する場合には単峰的にならないことがある。

ウ. 選好が単峰的でない場合、2 大政党制では 2 政党の意見が収束する傾向にある。

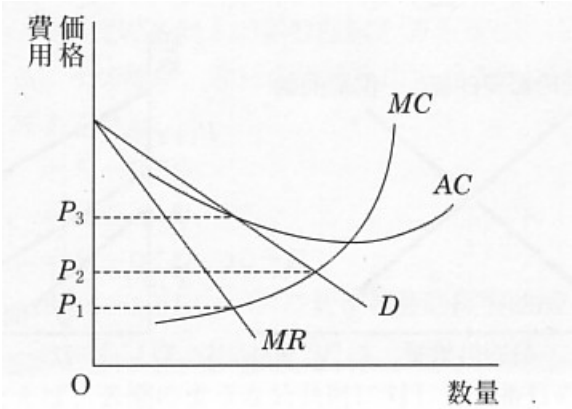
エ. 選好が単峰的な場合、単純多数決の結果は中位投票者の選好と一致するため、そのような決定は効率的な資源配分をもたらす。

オ. 累進税制のもとで、多数決投票によって公共財水準が決定されると、必ず過大供給になる。

5. ある産業は 1 企業によって独占されており、その財に対する需要(D)、限界

費用曲線(*MC*)、平均費用曲線(*AC*)、限界利潤曲線(*MR*)が以下の図のように示されているとき、次の記述のうち正しいものを選びなさい。

【国家Ⅰ種・平成 3 年度】(1 点)



ア．この産業に対し、政府が何らの規制も行わず、企業が利潤最大化を図った場合、この財の価格は P_1 に決定され、これによって最適な資源配分が実現される。

イ．政府がこの産業に対して規制を行った結果、この財の価格が P_2 になったとき、企業にその損失分だけ補助金を与えれば最適な資源配分が実現される。

ウ．政府がこの産業に対して規制を行った結果、この財の価格が P_3 になったとき、企業の利潤はゼロとなって最適な資源配分が実現される。

エ．このような産業は「自然独占」と呼ばれており、価格設定をどのように行っても最適な資源配分を実現するのは不可能であるが、この財を供給することは社会的に見ると望ましい。

オ．最適な資源配分を実現するように財の価格を設定した場合、この企業の損失額は消費者余剰よりも大きいので、この財を供給することは社会的に見て望ましくない。

6．2 財 x、G(ただし、x は私的財、G は公共財とし、共に正とする)と 2 消費者(i = 1, 2)からなる経済において、各消費者の効用は 2 財の消費量に依存し、2 人とも次の同一の効用関数を持つとする。

$$u_i = x_i G^2 \qquad (\text{ただし、} i=1,2) \qquad (1)$$

当初、私的財だけを消費者 1 は 9 単位、消費者 2 は 6 単位持っているとする。また、この経済では、政府が 2 消費者から私的財を徴収し、それを用いて公共財を生産するものとする。ただし、その生産関数は、

$$G = 3y \qquad (2)$$

であるとする(ただし、y は公共財の生産に用いられる私的財の総量)。

この経済のリンダール均衡における公共財の生産量(G^*)と、各消費者の私的財消費量(x_i^*)について、以下の中から正しい組合せのものを選びなさい。

(1 点)

	G^*	x_1^*	x_2^*
ア	15	4	6
イ	15	6	4
ウ	30	2	3
エ	30	3	2
オ	30	6	4

7. http://www.m-net.ne.jp/~kunicity/bus.html を見て、「くにっこ」のことを調べて、以下の問いに答えなさい。

(1)「くにっこ」は公共財か、私的財か。回答の理由も含めて答えなさい。

(2)「くにっこ」は公的に生産される財か、私的に生産される財か。回答の理由も含めて答えなさい。

(3)「くにっこ」は公的に提供される財か、私的に提供される財か。回答の理由も含めて答えなさい。

(2 点)

8. 4 月 26 日に経済財政諮問会議は「郵政民営化に関する論点整理」（http://www.keizai-shimon.go.jp/2004/0426/0426item1.pdf）をまとめたが、民営化の目的については、そのデメリットを評価する分析に乏しい。そこで、「論点整理」の冒頭の一段落を置きかえるつもりで、公社形態と民営化の長所・短所を比較して、なぜ郵政事業を民営化するのかを示す趣旨の文章を作成しなさい（分量は置きかえる一段落と同程度か若干多い程度）。あるいは判断基準に基づいて自分で考えた結果、公企業が望ましいという結論に至った場合は、公社形態を維持することが望ましいという文章でもかまわない。（この問題は結論についてではなく、論理的に考えているかどうかを採点の基準にします）

(2 点)